

11月の衛研検査情報

～トピックス～

アレルギー物質を含む食品の検査結果（その1）

平成13年4月、食物アレルギーを持つ人の健康危害を未然に防止する観点から、アレルギー物質（特定原材料）を含む食品に表示が義務付けられました。現在、アレルギーの発症数及び重篤度を踏まえ、卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かにの7品目が特定原材料として指定されており、横浜市でもこれら7品目の検査を実施しています。

今回は、平成25年9月に健康福祉局食品専門監視班および緑福祉保健センターが市内製造所や小売店から収去した検体について、えび・かにおよび小麦の検査、10月に市内小学校の給食施設から収去したアレルギー物質除去給食24検体について、卵および乳の検査を行いました。これらの検査結果を報告します。

主な結果

[えび・かへの検査] えびせんべいを製造している市内製造所からせんべい3検体、小売店等から5検体を収去し、えび・かへの検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、えびせんべい1検体は陽性でしたが、その他の7検体は陰性（10ppm未満）でした。えびせんべいは、同じ施設内で製造されているしょうゆ・しおせんべいにコンタミネーションがないかどうかを確認するための対照品として検査を行ったものであり、えびを使用していることが明らかのため、今回確認試験は行いませんでした。

[小麦の検査] 市内製造所、小売店等から米粉など8検体を収去し、小麦の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、小麦はすべて陰性（10ppm未満）でした。

[卵の検査] 市内小学校の給食施設から卵スープ（卵除去）14検体、八宝菜（卵除去）2検体を収去し、卵の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、卵はすべて陰性（10ppm未満）でした。

[乳の検査] 市内小学校の給食施設からにんじんポタージュ（乳除去）8検体を収去し、乳の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、乳はすべて陰性（10ppm未満）でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成25年9月は、デング熱、犬による咬傷、クロストリジウム-ディフィシル感染症、手足口病に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は176,675件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。